

## 4 平成30・令和元年度人権教育研究指定校の実践

### 掛川市立曾我小学校

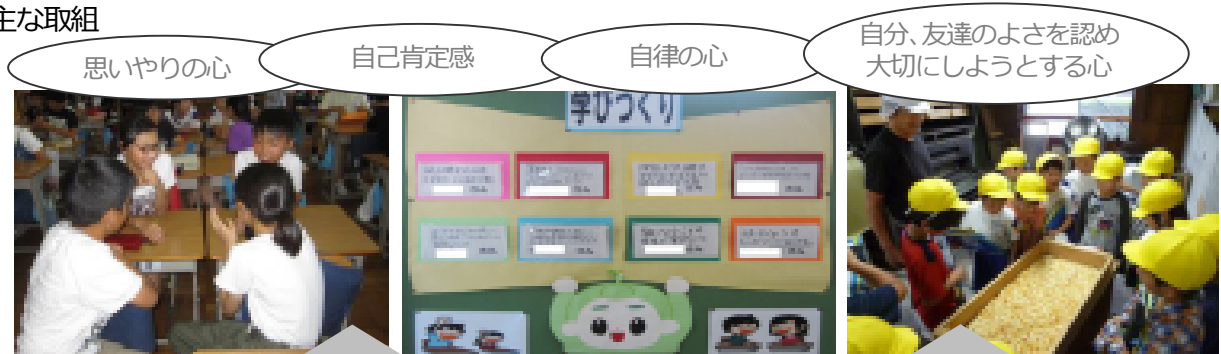
●研究テーマ 「みんなが笑顔で かがやく学校 ～自分の大切さ 友達大切さを 実感する子の育成～」

●全校で取り組んだ人権教育の実践例

つくり部の取組・・・心・体つくり部、学びつくり部

つくり部を支える土台としての取組・・・人権意識を高めるための取組

●主な取組



#### 心・体つくり部

- よさ・がんばりを認める  
かがやきタイム、「かがやき」の掲示  
（「いいところ見つけ」の取組）
- 豊かな人間関係づくり  
人間関係づくりプログラムの活用
- 自律の心を育てる生活指導  
だ・い・じ あいさつ（誰でも いつでも 自分から）  
だ・い・じ そうじ（黙って 一生懸命 時間いっぱい）  
曾我っ子アンケートと個人面談（年3回）

#### 学びつくり部

- 解決したくなる課題の工夫  
教材の工夫、単元構想の工夫、学習問題の工夫
- 板書のユニバーサルデザイン化  
色の使い方、伝え合いのマーク（◎◎：グループでの伝え合いと全体での伝え合い）の活用、分かりやすい言葉
- 話す・聞くレベルアップ  
話形の掲示、伝え合い名人の称揚・掲示
- 教師の仕掛け  
ゆさぶる発問・切り返しの発問

#### 人権意識を高めるための取組

- 教職員の人権意識を高める  
人権チェック、人権目標と振り返り  
人権教育年間指導計画の作成
- 豊かな心を育む道徳教育  
全校道徳、道徳コーナーの設置、振り返りの充実  
実践を積み重ね個の変容を見取る
- 家庭・地域との連携  
学校だより・学年だより、地域の教育力を生かす  
道徳の授業参観、キャリアノートの活用
- 児童の人権意識を高める  
参加体験型人権学習、人権擁護委員による人権教室  
人権ポスターへの取組
- 一人一人を大切にする特別支援教育  
個別の教育支援計画の作成  
校内支援体制  
（特別支援委員会、生徒指導委員会、ケース会議）

●児童の変容

- ・友達のよいところに目を向けようとする子が増えた。
- ・挨拶や掃除など、生活の基本となる活動の実践力が向上した。子供自身もこのことを実感できている。
- ・自己理解や他者理解が進み、良好な人間関係を築くことにつながった。
- ・多くの子供が「発表できるようになった」「考える力が付いた」という実感を得ることができた。

●取組の成果

- ・授業で身に付けた伝え合う姿が、他の場面でも見られるようになった。
  - ・職員の子供を見る見方が広がり、子供や学校全体の雰囲気明るくなった。
- 学校評価アンケートによると、「だ・い・じあいさつを心がけている。」「相手を思いやるやさしい言葉遣いをしている。」「『伝え合い名人』を目指して授業に取り組んでいる。」の各項目について、職員の数値が上がるとともに、子供の数値との大きな隔たりが少なくなっている。

